

まえがき

私は治療家として間もなく30年になります。

腰痛や首の痛みなど、多くの痛みで苦しんでいる患者さんを治療してきました。

その中には、一向に痛みが変わらない患者さんもいました。

病院に紹介して検査をしても、「異常なし」と言われて戻ってくる患者さんもたくさんいます。

「自分の技術が未熟だからダメなんだ」と悩んだときもありました。

20年前、肩が上がらない患者さんを治療していました。何度治療しても一向によくなりません。いつの間にか来院されなくなって、1カ月ぐらい過ぎたとき、ふらっと立ち寄ってくれて、「肩はすっかりよくなりました」と報告してくれました。

どこか他の治療院で治療したり、薬を飲んだりしたのかなと思い「どうやって治したんですか？」と尋ねたら、「仕事を変えたら、治りました」と言われました。仕事の内容は前職と変わらないそうです。

「身体の状態も、仕事の内容も変わらないのに、痛みがなくなったのはなぜだろう？」という疑問が湧いてきました。

そして、その患者さんによく聞いたら、「嫌いな同僚と離れることができたから」と教えてくれました。

初めて、その痛みが身体だけの問題ではないと気づかされました。

多くのビジネスパーソンは、いくつもの痛みを抱えて仕事をしています。

とくにパソコンの使いすぎで、痛みがある人も実際にいます。

しかし、前述の患者さんのように、「心の問題」で痛みが生まれるということを、たくさんの人々に知っていただきたいと思っています。

そして「身体の痛みは心の声かもしれない」と、一度は考える機会にしていただけたら幸いです。